



6月
27日

ICレコーダーづくりに挑戦!

6月27日(水)、国見町の伊美小学校で、ソニーセミコンダクタ㈱の「ものづくり教室」が開催されました。実験や工作を通じて、楽しみながら科学に興味をもってもらおうと行われたもので、伊美小、竹田津小、熊毛小学校の5年生合計34人が参加しました。

教室では、同社で社会貢献活動に取り組んでいる「燦活動グループ」のメンバーの指導で、ICレコーダーの組み立てに挑戦しました。完成したICレコーダーから自分の声が再生されると、児童からは驚きの声が上がりました。

少年の船に向けて 参加者交流会

県内の児童・生徒が船旅で沖縄を訪れ研修する「大分県少年の船(7月27日～31日)」の開催を前に、事前に市内の参加者同士で交流を深め、昨年の参加者との情報交換を図ろうと「国東市参加者交流会」が、7月21日(土)、アストくにさきアグリホールで行われました。

昨年乗船した15人と今年乗船する16人が参加した交流会では、自己紹介の後、過去のDVDを見てイメージをふくらませ、沖縄の楽しみ方などを昨年の参加者からアドバイスを受けました。また、全員で整列や手話の歌の練習を行いました。会場には過去に乗船した団員の写真なども展示され、出発に向けてムードを盛り上げていました。

7月
21日



少年の船のテーマソング「ともだちになるために」を練習する参加者



7月
3日

思いやりの大切さを学習

7月3日(火)、日本航空(JAL)と東京ディズニーリゾートの共同企画「思いやりの教室」が武蔵東小学校と安岐中央小学校で開催されました。

この教室は、両社の職員が講師となり、ほかの人への思いやりの大切さを子どもたちに伝えることで、心の成長を促そうと企画されたもので、両校の3・4年生が参加しました。

教室ではJALのキャビンアテンダントが、笑顔やあいさつ、歩き方など接客のコツについての話をしました。

続いて、東京ディズニーリゾートの職員と連想ゲームや間違い探しゲームを行い、相手をよく見ていると気持ちが分かるようになることを学習しました。

武蔵東小学校「思いやりの教室」でのあいさつの練習

理科や科学にチャレンジ!

理科や科学に関心を持ち、楽しみながらモノづくりに挑戦しようと「くにさき少年少女発明クラブ(福田克彦会長)」が発足しました。市内の小学4年生から6年生の25人が会員となり、7月7日(土)、アストくにさきで開講式と第1回の活動が行われました。

クラブでは、小中学校の教員や教員OBが指導者となり「発明くふう展」への出品作づくりなど、来年3月までに10回の活動を予定しています。

開講式では、福田会長が代表の岩佐葉里さん(武蔵東小6年)に会員証を授与。岩本和太さん(国東小6年)が「いろいろなことに興味を持ってチャレンジしていきたい」と決意表明を行いました。

7月
7日



第1回活動の「おもしろおもちゃづくり」では、空気砲でローソクの火を消しました